

令和7年度 事務事業評価シート（１）

[令和6年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	難病患者支援事業				事業番号	011-218	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療業務		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組	—		
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—		
			無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画						
3	事業開始年度			平成 16 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠			難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）			

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、各区保健センター					
6	事業の対象	難病患者及び患者家族（対象者数は堺市特定医療費（指定難病）受給者証交付件数：R7.3.31現在）				対象数	単位
						7715	人
7	事業の目的	難病患者とその家族が生活の質を向上し地域で安心して暮らすことができるよう、療養生活における不安や悩みが軽減できるよう支援する。					
8	事業内容	○個別療養支援 指定難病348疾病（令和7年4月現在）のうち、重症化するリスクの高い神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施する。 ○難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク構築を図り、一層の連携強化を推進する。 ○研修会等 療養支援に携わる保健師等専門職の育成を目的に開催する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	難病患者の療養状況を把握の上、関係機関と連携して必要な支援を行い、患者とその家族の療養生活における不安等を軽減する					
	当該目標を設定した理由	難病患者やその家族が生活の質を向上し、地域で安心して暮らすことができるようにするためには、療養生活における不安や悩みを軽減させる必要があるため。難病患者の病状や生活環境等により、必要な支援が異なるため、目標値の設定になじまない。				
	目標に対する実績	難病患者やその家族が療養生活の質を向上し、地域で安心して暮らすことができるよう、保健師等が家庭訪問を行い、患者やその家族の療養生活における不安や悩みを把握し、関係機関と連携して必要な支援を行った。				
12	活動指標	単位		実績		目標
	難病患者に対する個別療養支援件数	件	目標値	令和5年度	令和6年度	令和7年度
			実績値	2,545	2,086	
			達成率	—	—	
当該指標を選定した理由	難病患者に対し、より多くの機会でもって面接・訪問を行うことで、療養生活における不安や悩みを解消し、生活の質の向上につながり、地域で安心して暮らすことができることに繋がるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	難病患者が罹患している疾病や状況・状態によって必要な面接時間や訪問回数等が異なるため、目標値の設定になじまない。					

令和7年度 事務事業評価シート（２）

事務事業名	難病患者支援事業	事業番号	011-218
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト		※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）				
	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	9,501	9,447	11,230	11,407	12,254
13	財源	1,412	1,412	1,412	1,412	2,028
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	8,089	8,035	9,818	9,995	10,226
14	人件費（b）	18,490	18,400	8,100	7,098	7,644
15	年間経費（c）=(a)+(b)	27,991	27,847	19,330	18,505	19,898

事業費の内訳							(単位：千円)						
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費		うち 一般財源	項 目	年度		事業費		うち 一般財源
		会計年度任用職員報酬	R6	決算	7,409	6,837	普通旅費	R6	決算	93	93		
			R7	予算	7,663	6,753		R7	予算	401	401		
		期末勤勉手当（会計年度任用職員）	R6	決算	2,838	2,258	消耗品費	R6	決算	127	127		
			R7	予算	2,883	2,035		R7	予算	128	128		
		謝礼金	R6	決算	108	108	通信運搬費	R6	決算	15	15		
			R7	予算	151	151		R7	予算	14	14		
		費用弁償（その他）	R6	決算	50	24	使用料及び賃借料	R6	決算	0	0		
			R7	予算	144	72		R7	予算	7	7		
		費用弁償（通勤費）	R6	決算	754	520	負担金、補助及び交付金	R6	決算	13	13		
			R7	予算	833	635		R7	予算	30	30		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分	単位	令和5年度	令和6年度	
	① 個別療養支援件数（面接・訪問）	件	2,545	2,086	
	② 上記①にかかる年間経費	千円	9,180	8,697	
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	3,607	4,169	
	算出についての説明等	難病患者支援担当（正職3名（20%×3名、12%×1名、5%×1名）、会計年度非常勤2名（60%×2名）で積算			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	難病患者の病状や生活環境等により必要な支援が異なるため、目標値の設定にはなじまないが、保健師による面接・訪問等の支援機会を多く持つことで療養生活における不安や悩みを解消し、難病患者やその家族の生活の質を向上させ、地域で安心して暮らすことができるようにした。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	難病患者に対し訪問等による支援に加え、難病患者支援関係機関の連絡会や保健師等専門職への人材育成研修の開催を通じて、難病患者とその家族が生活の質を向上させ、地域で安心して暮らすことに貢献できた。 また、難病患者支援センターや各区保健センターをはじめ、各関係機関との難病患者支援のネットワーク構築により、連携・支援体制の強化・充実に寄与したものである。